

アカカンガルー

今回はアカカンガルーの後ろ脚を紹介します。2本の立派な脚には3本の指と4本の爪があります。足の裏には厚い肉球があり一番大きく目立つ指は「薬指」。内側の小さな指は「人さし指」と「中指」が1本になったもので、そこには2本の爪がついています。外側には「小指」が

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



あり「親指」は退化してありません＝写真上。ちなみに写真下をみるとわかると思います。ですが後ろの方にも肉球がありますよね？そこがじ

立派な後ろ脚 進化の謎を考える

つは「かかと」となります。なので、カンガルーの足のサイズはとってもとっても大きいのです。

このような形になったのはきっと速く走る（跳ねる）ために、増やすものは増やし、減らすものは減らしたからだと思います。

動物たちが生きるすべとして進化してきた手や足を観察し、またその理由を考えるととても面白いのです。ぜひ、アカカンガルーをゆっくり観察して、いろんな角度から進化の謎を解いてみてください。

（アカカンガルー担当 小林哲也）

